

年頭のことは

横芝町議会議長 鈴木 繁



昭和四十八年の始めにあたり、議會を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さんおめでとうございます。輝かしい新春を迎えまして皆さんとともに新春を寿ぎ、あわせて皆さんの限りなき進展と幸福をお祝いできまことは、私の心から喜びとすることとでございます。年の改まるとともに、私達議会人も堅い信念のほどを誓いあい、町民の皆さんが豊かでより幸福な生活ができて明るい日々を送ることができましよう意を新たにす町政発展のために努力いたす所存であります。もとより、議会は町民のためにあり、声の窓口として推進の母体として存在するものであります。議会活動の良否は直ちに町政の上に反映するものであり町民のひとしく注目するところであります。

ます。従いまして、私達は
議事会人としての誇りと責任を
自覚しつつ良識に基づき、町
民全体の奉仕者であることを
忘れることなく、皆さんのご
期待に添うよう努力して参
ることこそ当然であります。が議
事会一同更に情熱をかたむけ

て尽力することをお誓いいたす次第であります。過去の欠点は率直に反省し、皆さんから愛され信頼され親しまれて議会として、議員ひとりひとりが常に良き町民の友として、住民の声を声として、また、心を心として大切にうけ入れ最大の努力を払いつつその目的をはたしていきたいと考えております。それには皆さんと緊密な連携を保ちながら、世論の現状を把握し時代に応じた計画的、総合的な行政を通して推進し、一歩一歩確実に精進いたさねばならないと思います。自らは微力ですが、幸い議員各位の献身的な活動と充実した事務局の力で皆さんの要望にこたえられるものと確信いたしております。尚、当面の課題と致しまして、

一、教育施設の建設並びに社会教育の育成

一、きめこまかな福祉行政の一

- 一、道路整備の拡充
- 一、農商工業の振興対策と開発事業の推進
- 一、空港騒音対策

以の諸問題に一層から
て其の実現を期する決意であ
りますので、皆さんのご理解
をいただき町政発展のために
旧年に増してご指導ご鞭撻を
賜りますようお願い申し上げ
ます。終りに皆様方のご健勝
とご多幸をお祈りして年頭の
ごあいさついたします。

十年一昔と言いますが、ふり返ってみると井上勇町長時代です。二昔前の現広報の前進であつた横芝町報が創刊された。当時は、戦後の混乱も未だ納らず、秩序の回復も充分でなく、食糧事情も窮乏をきわめていた。町には自治

警察が置かれ、人心の動揺、暴力破壊活動の防止、社会秩序の復活と治安維持に大いに力を注いでいた時であった。

こうした時代に、現助役真行寺勇氏が社会教育委員長として明るい町政と社会教育の必要性を提唱され、その中から横芝町報が誕生されたもの、私は記憶している。

町報は、騰写刷りであったが住民が自由に建設的意見や町への要望、行政上の改善、その他明るいニュース等の寄稿も一般から募集していた。今は故人になられたが、鳥喰

受診のときは
ぜひこれだけを

当町では、既に七十才以上の高令者に対しての医療費の十割給付を、町独自の方法で行なってきたましたが、こんど老人福祉法の一部改正により国が、その一部を負担することになりました。そこで本年一月一日から受診する場合、次の点に注意してください。よろしくお願いいたします。

一、**（寿）老人医療費受給者証**

を交付された者は、受給者証のほか国民健康保険被保険者証、又は、社会保険等の被保険者証と二枚合わせて医療機関の窓口へ提出して下さい。

所得制限により、**尋**の受給者証を交付されない者は、次の方法によります。

二、**老** 老人医療費受給者証

を交付された者は、受給者

以上に該当する者は、無料で受診できます。ただし、保険給付の対象にならないものは除きますのでご注意ください。たとえば、往診の際の規定外の車代、入院の際の差額部屋代、規定外の看護代、水薬のビン代等は、対象になりません。

上の大木克己氏、越川右京氏が経済大国とまで高度成長をそれから私等が町報の紙面をなし遂げたのは、日本の教育を借りて私見を述べさせてもらが生きていた結果だと思う。

その当時、私は学校の登下校時間に時々自転車で走り廻り学童に「お早よう」「さようなら」と声をかけた。学童も皆な元気で朝は「お早よう」

と町報へ寄稿した。その当時の校長は、宇多幹男氏（現学校給食会事務局長）でした。生徒全員を校庭に集めて私の町報にのせた拙文を読み上げて「人はあいさつが大切である」ことを話されたとのこと。で今想うと感無量である。

追憶

栗山勝又豊

記事だと想う。当時の社会事情は、敗戦の痛手による疲弊さつを交す。その態度には、困憊、日々の生活の苦汁の中に、敗戦による屈辱感もなく皆なで子弟の教育の負担は辛かった。町も学校当局も教育制度の大変革期で、PTAのあり方等大きな諸問題が山積していた。しかし国は敗れても教養は残った。私は今日、日本

「横芝小学校の生徒は、皆な礼儀が正しい皆なあいさつをしる。」

と実に隔世の感が深い。町の唯一の情報機関である広報も、ここに百号を記念するに至った。誠に御同慶に堪えないう、今後も住民の声を耳目として、また町の木鐸として大いに活躍されんことを期待する。